

## 教育施策

- ◆ 確かな学力と心身ともにバランスのとれた子ども一人ひとりを、関係機関・家庭・地域がそれぞれの責任のもと、相互連携し一体となって成長を支え、小平町の未来を託す子どもたちを育んでいくことが重要と考えています。
- ◆ 貴重な郷土資料については、先人の歴史や文化を知る貴重な教材として資料の保存整理とデータ等の整理に努め、展示公開や情報提供を通じて、その保存・継承に努めます。しかしながら、既存施設の老朽化が著しく資料の保存管理が劣悪な環境下にあることから、「旧花田家番屋周辺基本計画」に基づき保存施設の整備を行います。
- (その他施策)
- ① 危機管理に努め通学時の安全性を確保するためスクールワゴン車を更新
- ② 学校給食での「安全・安心」を第1に、地場産食材の活用
- ③ 幼稚園教育と連携した一体的な保育の提供
- ④ 老朽化してきた鬼鹿小学校の改築にむけて校舎の耐力度調査実施
- ⑤ 社会教育の推進のため「生涯学習リーダーバンク」や「学校支援ボランティア」の充実

⑥ 図書室の機能を活用して、町民の読書ニーズと学習意欲に対応した関係図書の充実や図書情報の提供

主な施策内容	予算額
小学校教員住宅建設工事	32,000千円
(仮称)小平町郷土資料館実施設計事業	32,000千円
鬼鹿小学校校舎耐力度調査事業	4,410千円
スクールワゴン購入	3,953千円
代替バス通学定期運賃差額補助金	3,782千円

## 職員資質の向上

◆ 私は、「役人は役に立つ人であれ」、「役場は役にたつ場所であれ」を意識して業務を行うよう訓示等の機会を通じて申し述べています。三位一体改革、総人件費削減、住民参加方式の模索、情報の透明化等、自治体は今、極めて大きな渦の中にあり、自治体組織・職員に対する逆風も強くなっています。従来の地方公務員は前例を踏襲したり、

上級官庁に問い合わせる能力の方が重要だったりもしました。しかし、時代は新しい地方公務員、「向上心を持つ職員」、「思考する職員」、「調査し行動する職員」が求められています。当町においても人口減少や高齢化率の上昇により、町の行うべき施策を恒常的に行うのではなく、再検討や新規施策の導入に向けた検討業務があるはず。日々の公務の中これらをしつかり自覚し、責任をもった仕事を行える体制充実を図り、町づくりを支える職員であるという高い意識を持つ職員資質向上に向け、なお一層継続的に指導していきます。

## おわりに

以上、平成24年度の町政執行に臨む主な施策を述べましたが、国税制が大きく見直される中で、町民が求める施策を的確に判断し、さらに町が直面している長期的な課題解決を見据えた町づくりを進める必要があります。そのために、職員が一丸となり英知を結集し、町民の皆様方と行政の信頼関係に基づき、各施策を推進していくかなければならないと考えています。

将来的な人口減少、高齢化率をも常に念頭におきつつ、将来性のある町づくりに邁進しますので、議員並びに町民各位のなお一層のご理解とご協力をお願いし町政執行方針とします。

